

Fujitsu Storage ETERNUS SF Storage Cruiser 16

ストレージシステムの統合管理ソフトウェア

ストレージ環境の効率的な管理、運用を可能とするストレージリソースマネジメント

ETERNUS SF Storage Cruiserとは

ETERNUS SF Storage Cruiserは、ETERNUS AF/DX seriesを中心としたストレージ環境を統合管理することで、ストレージシステムの安定運用を支えます。SANストレージやNASストレージをはじめ、サーバやスイッチ、テープ装置などストレージシステムを構築する幅広い装置を対象とすることで、日々変化を続けるストレージシステムを一元管理し、運用コストの削減に貢献します。

安全・簡単なストレージの設計構築

サーバでボリュームを利用するために必要な操作(ボリューム作成、サーバへの割り当て、バックアップ・リストア)を一つの画面から、簡単に実行できます。

必要最低限の情報を入力するだけで、安全かつ確実に整合性を保ちながら設計構築することができます。

ストレージリソースの状態可視化と性能監視

ダッシュボードで監視したい情報をまとめて表示し、ストレージシステムの状況や問題点を素早く把握できます。さらに、問題箇所は詳細情報で装置間の接続関係や、性能グラフ、サーバとストレージの関係管理など、詳しく確認できるため、導入/構成変更作業やトラブル調査を、迅速かつ的確に把握できます。ストレージ、ファイバチャネルスイッチ、物理サーバHyper-VやVMwareなどの仮想サーバに至るまでストレージシステムの構成物を統合的に管理することができます。

ストレージ運用の業務継続性向上*1

二台のストレージ装置間でデータ等価性を維持しながら、一台のストレージ装置が使用不可となった場合でも、I/Oアクセス先を使用可能なストレージ装置に自動切り替えして、業務を継続することができます。また、ストレージ装置が復旧したことを自動で検出し、素早く冗長化構成に復旧することができます。

さらにVMware HAなどのサーバ間で業務引継ぎができる環境と組み合わせることで、システム全体の可用性が向上します。

データ保管コストの最適化

異なる種類のドライブを混在搭載した環境において、データの配置先を制御し、パフォーマンスとコストの最適化を図るストレージ自動階層制御*2をサポート。データのアクセス頻度を検出し、アクセス頻度に応じた最適なデータ再配置を自動的に行うことで保管コストを最適化することができます。また、再配置ポリシーを設定することにより、システム運用にあわせたデータの再配置も可能です。仮想ストレージによりデータの再配置時にサーバの設定変更は不要です。

ストレージプールによる柔軟なディスク管理

仮想ストレージプール作成からサーバへのボリューム割り当てまでの一連の設定を直感的なウィザードで簡単に行うことができます。仮想ストレージプールの利用状況は、しきい値監視機能を備えた容量監視画面で確認することができます。必要最低限の物理ディスク容量でスモールスタートし、業務を止めることなく、必要な時に必要なだけ、ディスクを増設することができます。また、業務追加や繁忙期が異なる業務を混在運用する場合でも、ストレージ自動階層制御*2、QoS(Quality of Service)自動化*3と組み合わせることで、長期安定稼働とコスト最適化が図れます。

重要業務のストレージパフォーマンス保証

QoS自動化*3機能を使うことで、優先業務のボリュームに目標性能を設定するだけで、スイッチやストレージの性能情報をもとに、ストレージを共有するボリューム間のI/O性能のバランスを自動調整します。

優先度の高い業務のI/Oを優先させることができるため、データベースなど性能を重視する業務でも、他の業務のI/O負荷変動の影響を受けることなく安定した運用が可能です。

また、レスポンスタイムの目標値に届かない場合、ストレージ自動階層制御*2と連携することで、ボリューム毎にデータ配置先の容量比率を変更して、さらに目標値に近づくように自動チューニングすることができます。

*1 本機能は、ETERNUS SF Storage Cruiser Storage Cluster オプションで提供いたします。

*2 本機能は、ETERNUS SF Storage Cruiser Optimizationオプションで提供いたします。

*3 本機能は、ETERNUS SF Storage Cruiser QoS Managementオプションで提供いたします。

製品カタログ Fujitsu Storage ETERNUS SF Storage Cruiser 16

動作環境

OS種別	対象OS	
	Manager	Agent
Windows	Microsoft® Windows Server® 2022, Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Microsoft® Windows Server® 2012	Microsoft® Windows Server® 2022, Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016, Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Microsoft® Windows Server® 2012
Solaris	Oracle Solaris 11, Oracle Solaris 10	Oracle Solaris 11, Oracle Solaris 10
Linux	Red Hat® Enterprise Linux® 8, Red Hat® Enterprise Linux® 7 Red Hat® Enterprise Linux® 6	Red Hat® Enterprise Linux® 9, Red Hat® Enterprise Linux® 8 Red Hat® Enterprise Linux® 7, Red Hat® Enterprise Linux® 6 SUSE® Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64 SUSE® Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4 for AMD64 & Intel64
サーバー仮想化ソフトウェア	VMware vSphere® 8.0 (注1), VMware vSphere® 7.0 (注1) VMware vSphere® 6.7 (注1), VMware vSphere® 6.5 (注1) Microsoft® Windows Server® 2019 Hyper-V, Microsoft® Windows Server® 2016 Hyper-V Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Hyper-V, Microsoft® Windows Server® 2012 Hyper-V Oracle VM Server for SPARC, Oracle Solaris Containers KVM on RHEL8, KVM on RHEL7, KVM on RHEL6	—
HP-UX	—	HP-UX 11i v3
AIX	—	AIX 7.1

注1:管理対象とすることが可能です。サポート機能と詳細につきましては、弊社担当営業または弊社パートナーまでお問い合わせください。

- Microsoft、Windows Server、Windows、Hyper-Vは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hatは米国およびその他の国において登録されたRed Hat, Inc.の商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Oracle SolarisはSolarisまたはSolaris Operating Systemと記載する場合があります。
- VMwareは、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 記載の会社名、製品名、名称等の固有名称は各社の商標または登録商標です。
- その他、本カタログに記載されている名称には必ずしも商標表示をしております。
- このカタログに記載されている製品については、改良のために予告なしに仕様、デザイン等を変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ先

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)
富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター

<https://www.fujitsu.com/jp/eternus/>